

## 認知症に関する活動計画（概要）

愛媛県作業療法士会では、2017年度より認知症地域支援部門を立ち上げている。認知症地域支援事業として、東予・中予・南予地区別に部員をそれぞれ配置し、県内各市町村や関連団体より依頼を受け、認知症サポーター養成講座や、介護予防事業等へ出向き、作業療法士として地域支援に資する活動を行っている。今後も、部員の増員を図り、様々な領域で期待される役割にこたえられる作業療法士の養成を目指していく。

## 認知症地域支援事業

2019年度に「三浦保」愛基金の助成を受けて、認知症予防・啓発を目的とした「えひめカンカン体操」DVDを作成した。そして、愛媛県下全ての社会福祉協議会・地域包括支援センター、県士会員へDVDを配布し、説明会を実施している。また、2023年度には全国健康福祉祭えひめ大会が開催され認知症予防に関するリーフレットも作成している。

市町村からの依頼に応じ、認知症初期集中支援、認知症カフェ、予防事業や出前講座等にスタッフを派遣している。地域での活動を実施する際は、認知症予防啓発を行うと共に、認知症予防の1つの手段となるようリーフレットの配布、DVDの説明も交えながら、啓発活動も行っている。



## 認知症に関する研修など

愛媛県作業療法士会では、県内の作業療法士、言語聴覚士、理学療法士からなる愛媛県リハビリテーション専門職協会と共催し、「認知症アップデート研修」を開催している。今年度は、国内外の認知症の動向やBPSDの理解、臨床に役立つ知識の整理等を中心とした基礎的な内容に加え、地域における作業療法士と他職種との連携についての講義を予定している。また、前年度に引き続き「認知症地域支援に関わる作業療法士の育成研修」も実施予定であり、どの領域・地域でも期待される役割に応えられる作業療法士の育成を図っていく。